

ISO/TC61 (プラスチック) 中国・蘇州国際会議、英国・ロンドン国際会議

須賀茂雄

ISO/TC61(プラスチック)中国・蘇州国際会議

2013年9月9日から13日に蘇州(中国)で開催された。当社喜多英雄と共にSC6/WG2(老化、耐薬品性、耐環境性部会の光暴露)・SC5/WG11(物理・化学的性質部会の中の分析方法)会議に参加した。また当社片野邦夫は、SC4/WG8(燃焼挙動部会の着火と燃焼の広がり及び燃焼発熱)会議に参加した。SC6/WG2には、ドイツ・チェコ・中国・韓国・英国・米国・日本の7ヵ国・20名、SC5/WG11には、英国・ドイツ・タイ・米国・オランダ・日本・中国の7ヵ国・14名、SC4/WG8には、ベルギー・フランス・中国・英国・日本の5ヵ国・9名が参加し、次の項目について審議が行われた。

(1) SC6/WG2では、

① ISO 4892-1(実験室暴露試験 - 通則)の改訂: 審議結果を元にDISとして回送。

参照太陽光を何にするかが審議され、CIE No.85 とする事で一致した。

② ISO 4892-2(実験室暴露試験 - キセノン)の改訂: IS発行済。

③ ISO 4892-3(実験室暴露試験 - 紫外線蛍光灯)の改訂: 複数のランプを使用する試験方法は削除し、FDIS投票として回送(2013.8.20にIS発行済)。

④ ISO 4892-4(実験室暴露試験 - サンシャインカーボンアーク)の見直し: IS発行待ち(2013.8.5にIS発行済)。

⑤ ISO/TR 17801(参照太陽光): 数値を再度見直し、次のステップに進める。

⑥ ISO/TR 18486(参照太陽光と実験室暴露試験用光源との一致度): 参照太陽光をCIE No.85 とし、次のステップに進める。

⑦ ISO/TR 19022(照度と暴露試験結果との相互依存性): 更にデータを集め、次のステップに進める。

⑧ 韓国より、サッカー場での人工芝の試験(摩擦試験と耐候性試験との組合せ)は、WG3で審議する。

(2) SC5/WG11では、日本提案の写像性測定方法のDIS投票結果の審議が行われ、審議結果を元にFDISに進める(その後FDIS提案が行われ成立。ISO17221として2014.5.1に発行済)。

(3) SC4/WG8では、日本が酸素指数試験法の改訂が必要であるとの見地から検討事項を紹介し、参加メンバの賛同を得た。日本が案を作成し新規提案として登録する事が認められた。

ISO/TC61/SC4(燃焼挙動)英国・ロンドン国際会議

2014年3月17日、18日にISO/TC61/SC4(燃焼挙動)のWG会議がロンドン(英国)で行われ、当社片野邦夫が参加した。SC4/WG8には、ベルギー・フランス・英国・日本の4ヵ国・10名が参加した。ISO 4589(酸素指数試験法)の議論において、プロジェクトリーダーの片野が用意したWDの内容について意見が出され、それらを盛りこんだCDを作成後、CD投票にかけられることとなった。